



# 未知の脅威にも安心 マイクロソフトの最新のセキュリティ

～ 端末標準のセキュリティから、生成 AI を用いた状況把握まで ～  
EDR・SoC

教育をとりまく環境のオンライン化が進行するほど、  
攻撃者にとっては教育機関への攻撃が絶好の機会となっており、その勢いは年々加速していきます。  
攻撃の手法も高度化しており、従来型のパターンマッチングによる対応以外にも、より高度な対応が求められる状況になっています。  
Microsoft では、侵入後の検知、対処に至るまで、さまざまな方法で脅威から資産を保護するサービスを用意しています。

## 未知の脅威から端末をどうやって守る？

### ウイルス対策は OS 標準装備！

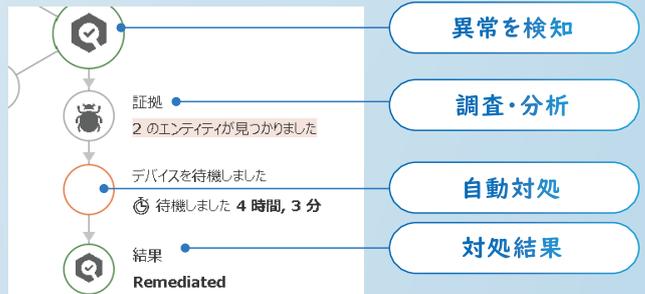
Microsoft Defender ウイルス対策は Windows OS 標準搭載のウイルス対策ソフトです。メール、アプリ、クラウド、Web 上のウイルス、マルウェア、スパイウェア等のソフトウェア脅威に対して、包括的・継続的に、かつリアルタイムでデバイスを保護することができます。Microsoft Defender ウイルス対策は、独立第三者機関のテストでも、セキュリティ業界トップスコアを獲得しており、GIGA スクール構想の標準仕様となっています。

### 包括的・継続的にかつリアルタイムでデバイスを保護

<b>ウイルスと脅威の防止</b> 脅威からデバイスを保護します。	Windows コミュニティのビデオ <a href="#">ウイルスと脅威の防止に関する詳細</a>
<b>現在の脅威</b> 現在の脅威はありません。 最後に実行したスキャン: 2020/06/25 16:09 (クイック スキャン) 0 個の脅威が見つかりました。 スキャンの継続時間: 17 分 8 秒 153739 ファイルがスキャンされました。	質問がありますか? <a href="#">ヘルプを表示</a>  現在の保護機能のプロバイダーは?

### これからは侵入後の検知・対処まで (EDR)

サイバー攻撃の手法は年々巧妙化してきており、従来のセキュリティ製品だけでは対応が難しいケースが増えてきました。Microsoft Defender for Endpoint は、端末の怪しい振る舞いを監視し、脅威を検知（ふるまい検知）してくれるだけでなく、調査と対応を、AI 技術を利用して自動化してくれる仕組みです。これにより、端末のセキュリティ強化だけでなく、管理者の負荷が格段に軽減されます。



生成 AI を利用した迅速な脅威の把握とは？

裏面をチェック！

# 組織の脅威の状況も生成 AI で瞬時に追跡・把握

～ SoC 担当者もより速い分析が可能に～

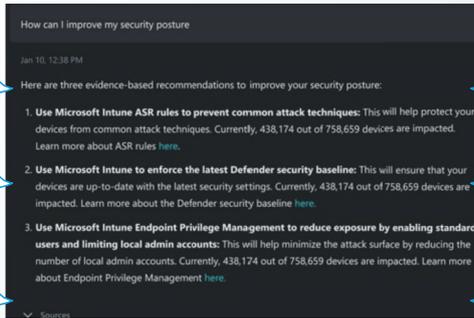
## 今どうなってる？大丈夫？組織の状況は Copilot for Security に文章で問い合わせ

日々、組織に降りかかる脅威について、さまざまな対策を施した上で、その状況を監視して対応することが求められます。たとえば SoC サービスを用いて、あらゆる脅威に関する情報を集約して、監視から対処まで一貫して遂行する体制をとることが必要です。特に、インシデント発生時には膨大な情報の中から、今起きている事象の詳細、原因、影響範囲を素早く把握することが求められます。Copilot for Security に問い合わせることで、さまざまな角度からその状況に応じた必要な情報を収集することができます。専用の画面で一か所にまとめることも、それぞれのセキュリティ対策機能から呼び出して情報収集することも可能です。SoC 担当者にとっても、数時間かけて取得していた情報を数分間でキャッチすることが可能になり、コストが抑えられると同時に、より強固なセキュリティ体制の構築につながります。

Tell me about my latest incidents.  
直近のインシデントについて教えてください

Are any of my machines affected?  
影響を受けるマシンはありますか？

Summarize this incident in PowerPoint.  
このインシデントを PowerPoint にまとめてください



How can I improve my security posture

Jan 10, 12:38 PM

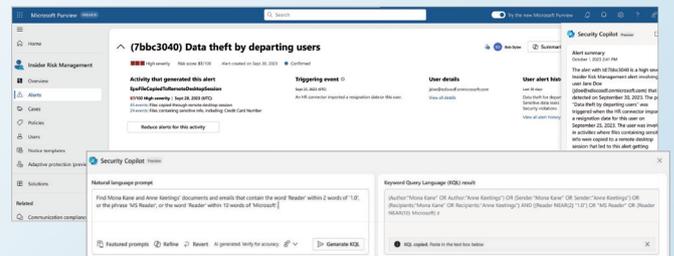
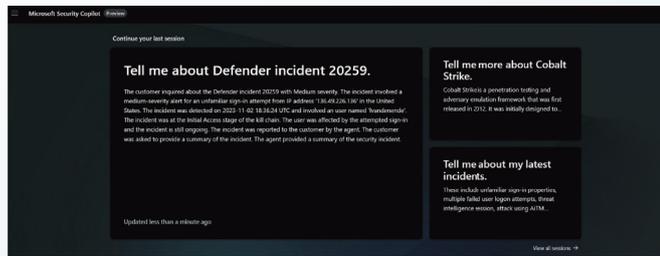
Here are three evidence-based recommendations to improve your security posture:

1. Use Microsoft Intune ASR rules to prevent common attack techniques: This will help protect your devices from common attack techniques. Currently, 438,174 out of 758,659 devices are impacted. Learn more about ASR rules [here](#).
2. Use Microsoft Intune to enforce the latest Defender security baseline: This will ensure that your devices are up-to-date with the latest security settings. Currently, 438,174 out of 758,659 devices are impacted. Learn more about the Defender security baseline [here](#).
3. Use Microsoft Intune Endpoint Privilege Management to reduce exposure by enabling standard users and limiting local admin accounts: This will help minimize the attack surface by reducing the number of local admin accounts. Currently, 438,174 out of 758,659 devices are impacted. Learn more about Endpoint Privilege Management [here](#).

Which alerts are being triggered the most?  
どのアラートが最も多く発生していますか？

What is log4shell?  
Log4Shell とは何ですか？

How can I improve my security posture?  
どうすればセキュリティ態勢を改善できますか？



### ハイライト表示

すべてのユースケースを1か所にまとめることで、チームが Copilot for Security 内でインシデントのトラブルシューティングと修復を迅速に行うための幅広いコンテキストを取得できるため、製品間のガイダンスが充実します。

### 機能内に埋め込み

Security Copilot のガイダンスを、チームメンバーが既に利用している使い慣れた製品内でネイティブに取得する、直感的なエクスペリエンスを提供します。

Copilot for Security のデモ・しくみなどについて詳しくはこちら ▶



## 次世代の教育 ICT 環境に求められるゼロトラストの考え方は？

1人1台の端末を有効活用し質の高い教育を実現するため、文科省セキュリティガイドラインで触れられているゼロトラストセキュリティの考え方や、それがもたらす教育効果について、詳しく紹介しています。

### 教員の働きやすい環境を整える

教員が働きやすい環境を整えることで、業務負担を軽減し、子どもたちと向き合う時間を創出します。

- 教員が安心・安全に使える ICT 基盤、サクサク動くパソコン
- 転記・集計などの事務作業の自動化
- 働く場所や時間を選べる環境で、仕事の効率を上げる



### より深い学びの実現

ICT の特性を生かし、より深い学び合いや探究学習を実現することで多様な子どもたちの可能性を広げます。

- 時間や場所の制約を超える
- 意見を共有しあう手段が増える
- 様々な履歴を蓄積し、振り返りできる



ゼロトラストセキュリティについて詳しくはこちら ▼



### 本リーフレットについてのお問い合わせ

本リーフレットに記載された情報は制作当時（2024年5月）のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。本リーフレットは情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。

製品に関するお問い合わせは次のインフォメーションをご利用ください。

■インターネット ホームページ <https://www.microsoft.com/ja-jp/>

■インターネット カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755 (9:00 ~ 17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除く) ※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

\*記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。

\*製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。



日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー